

一筆啓上碑の建立

作左の会が発足して一年後の平成十二年度の総会（平成十三年一月二十一日）が学区市民ホームで開催されました。総会に先立ち、一筆啓上碑の除幕式が行われました。この碑は作左の会の設立を記念するとともに思いやりの心を大切に
する六ツ美西部学区の新たなシンボルとして建立されました。

石は額田町産の御影石で高さ一・六メートル、幅一・二メートルあります。碑の表面の日本一短い手紙文は本多作左衛門の末裔である本多英子さんの書で刻まれました。碑の隣りには「作左衛門は頑固な反面、家族を愛し、相手の立場を考え、思いやりのある武将であった」と説明板が設置されました。



一筆啓上碑の除幕式



雪の中の作左碑

啓上碑に感動

本多 英子

早いもので一筆啓上碑の建立から十六年の年月が経ちました。除幕式で見た立派な石に感動したことを鮮明に覚えております。これからも『作左の会』が学区活性化の一翼を担うことができれば嬉しく思います。